

新年にあたり

早くも2,000年、区切りのよい年となりました。

皆様、明けましておめでとうございます。

毎月お届けしております「南会津のうりんニュース」も、偶然のように20号、まだまだ緒に付いたばかりですが、スタッフ一同新たな気持ちで、紙面づくりに取り組みますので、各位のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

さて、奥会津を、湯の花を、こよなく愛した小生の親戚で国民文学の同人であった、故、杜院念とくいんねんは次のような短歌を残している。

- ・ふるさとの 山と言へども 奥会津
はるばる遠しいで湯湯の花
- ・日本の 奥のおくとぞ 己すてに亡き
中山義秀言ひき いで湯湯の花
- ・幾山を 越えてはるばる 老われは
恋いて来にけり いで湯湯の花



◎今月のトピック

◆「山の幸」保護シンポジウムが行われました

12月16日(木)に南会津地方第4回「『山の幸』保護シンポジウム」が、只見町長浜「湯ら里」において開催されました。

このシンポジウムは、大切な資源である「山の幸」を守りながら、より一層の活用を図り地域振興の方向を探るため、「山の幸を生かした地域振興」をテーマとして行われ、管内森林所有者約50名が参加しました。

所長の挨拶のあと、山形県小国町森林組合の山口常務による特別講演があり、只見町の角田さん・下郷町の小椋さんからの報告を受けて、参加者による討論会を行いました。

討論会では、観光ワラビ園・観光キノコ園等の活動状況や、住民と入山者のトラブルの解決法についての討論が行われ、「来るものは拒めない、来た人をいかに地域で受け入れるか。また、心の

また、都市と農村との交流事業(国土庁)で、浦和市と南郷村が姉妹提携の折り、当時の市長様に「どうして南郷村なのですか」と問うた際「何もないことと、遠いこと」の答えがあった。

地域外の第三者にとつての奥会津、南会津はそうなのかもしれない。

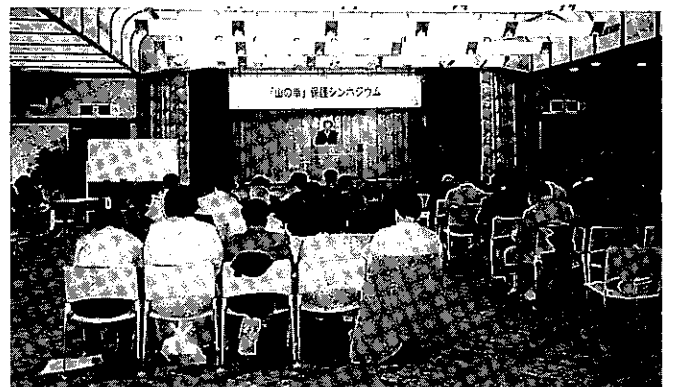
さらに、先の歌に詠まれているように、遠くて何もない(?)ここ南会津は、素晴らしいところなのである。

過密に悩む都市や住民をうまく活用して、「一度は住んでみたい南会津」にするためにも、これまで以上に都市と農村の交流や、グリーン・ツーリズムなどを推進し、地域活性化の一助にしたいと思う新春である。

農林水産部参事兼所長 横田 泰助



ふれあい、教育(マナー)を通して、山の幸(恵み)を理解してもらおう。」こと等が話し合われました。管内の参加者からは、特別講演を聞いて、「今後の活動に自信を持つことができた」との話が出ていました。



多くの方がシンポジウムに参加しました

◆「遊休農地活用先進地研修」を喜多方市で開催

12月8日、喜多方市のJA会津いいで熊倉支所において「遊休農地活用先進地研修」を開催し

ました。喜多方市の雄国山麓地区は、農地開発された広大な畑が存在する南会津と類似した条件で雄国開拓パイロット事業で整備した畑を活用し、グリーン・ツーリズムを絡ませた先進的な取り組み（農業体験学習）をしているため、南会津地方遊休農地活用推進会議が主催して研修会を行ったもので管内の町村、JA、農林事務所などから14名が参加しました。

当日は、JA会津いいで熊倉支所、雄国山麓地区営農協議会、喜多方地域農業改良普及センターの担当者から現地の案内や農業体験学習の受け入れについて詳しく教えていただきました。

この取り組みを活用し、南会津地方の遊休農地

が少しでも解消されることが期待されます。

◆南会津地方農業・農村振興計画検討会を開催しました

現在策定中の農業・農村振興施策の指針である「新たな農業・農村振興計画（仮称）」及び「福島県第5次土地改良長期計画」の南会津地方計画に対して、町村長、農林業関係者、商工業関係者、消費者、学識経験者などの意見を把握するため、南会津地方農業・農村振興計画検討会を設置し、第1回の検討会を12月10日、田島町建設会館において開催しました。

今後、平成12年の11月まで約3回の検討会を開催する予定です。



★地域紹介コーナー

・・・南郷村・・・

「出逢い・・・それは“縁”」

平成11年春に南郷村・只見町の農業委員会と商工会が共同で結婚問題に取り組むために、総括事務局を南郷村商工会内に置く「出逢いふれあいin奥会津実行委員会」を設置しました。

真面目に結婚を考えている都市部に住む女性を対象として企画した初めての事業であり、参加の申し込みがくるまで不安でしたが、定員50名をオーバーしたときは一安心しました。

全体会議はいつも夜。6月から10月までの間に10回ほど開き、時計をみると12時を過ぎていたということがしばしばで、その他に企画と宣伝部会は何回も会合がもたれました。

最終の打合せでは、専門会社からアドバイスを受け、「これだけの参加者は全国でも例がないだろう」といわれ、みんな嬉しさの中に自信がわき、事の重大さを痛感し、全力でサポート（支援）しようと思ったのは私ばかりでないでしょう。スタッフ一同は自分たちが恋をしているかのように燃え、すっかりキューピット役になりきっている様子でした。

委員には独身の女性も委嘱され、参加する女性側の立場になっての多くの意見が出され、細かいところの気配りも女性ならではのものも多く、中でもカードを使った告白方法は3日間行い、カップルづくりに役立ちました。

集団お見合いの事業は10月22日から3日間、南郷村と只見町を舞台に行い、地元男性52名、都市部の女性46名の大型交流イベントとな

南郷村農業委員会 事務局長 五十嵐 文紀

りました。青空の下でカップル19組の誕生を発表。人とひとの出逢い・・・それは“縁”。巡り会えなかった参加者もカップルに幸多かれと大きな拍手を送ってくれました。我々スタッフは今までの苦勞を忘れ、喜びに酔いしれました。何よりも真剣に取り組んでくれたスタッフの思いやりが実を結んだものと思われます。長期間にわたり、この事業をボランティア精神で行ってくれたスタッフのみなさんに心から感謝申し上げます。

なお、この事業は南会津地方振興局の支援を受けて行ったものです。

地域の発展はこのすばらしい実行委員会が握っているような気がいたします。この組織に期待して、ぜひとも継続してこのサポート事業を行っていきたいと思います。



事業を成功させたスタッフ一同（ご苦勞様でした）

特集！① 農業集落排水事業について

●農業集落排水事業とは？

みなさんの便所・台所・風呂場などの汚水を集めて、これをきれいな水にするために、汚水を集める污水管の設置とこれを浄化する処理施設の建設を行う事業です。

南会津地方では、田島町の田部地域や館岩村の湯ノ花、前沢、高杖原地域、只見町梁取地域で工事が完了し、既に地域の皆さんが利用を始めています。

今後は、伊南村の古町地域や只見町の西朝日地域などでの工事完了が見込まれます。

●対象となる污水排水

し尿及び生活雑排水（炊事、洗濯、風呂場）などの汚水と雨水を分離し排水処理します。

●事業主体

県及び町村です。

●実施出来る地域

- ①農業振興地域内の集落であることが必要です。
- ②対象となる戸数は20戸以上です。20戸以下でも別途地方単独事業で実施することができます。
- ③処理対象人口は原則としておおむね1,000人以下ですが、1,000人を超える場合であっても所要の協議を経て実施することができます。

●事業のしくみ

農業集落排水事業は、県及び町村でつくる施設と個人でつくる施設に分けられ、この事業に要する経費は、国庫補助事業のほか県補助及び町村や住民の負担によってまかなわれています。

個人でつくる施設の経費は、各家庭の宅地内

配管や延長や便所の改造、家屋の構造配置などによって異なります。

表 県及び町村でつくる施設の補助率 (%)

事業主体	国	県	地元	摘要
県	50	25	25	一般型
県	50	16	34	地方単独併用型
町村	50	12	38	一般型
町村	50	15	35	水質保全型

●個人でつくる施設の資金に対する融資

農林漁業金融資金等の融資が受けられます。

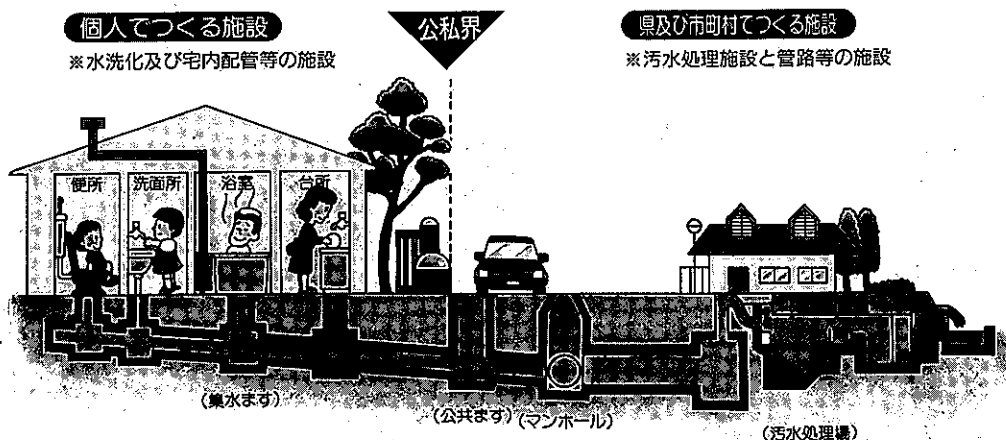
なお、融資を受けるに当たっては、非農家の方々もおられますので地域の方々で利用組合などを作ってください利用組合をとおして融資の申込みとなります。

融資の貸付け利率は3.5%で償還期間は25年以内です。また融資の借入れ出来る範囲は次のとおりです。

- ①宅地内・屋内排水管敷設工事(排水部分のみ)
- ②集水ます・合接ますの設置
- ③便器の更新、便所の改造工事
- ④風呂・厨房・洗面所の更新・改造工事
(但し、1ヶ所につき貸付限度額は風呂100万円、厨房50万円、洗面所10万円)

●毎月の使用料金

規模や処理方式によって違いますが、供用開始後の維持管理費（電気代、人件費等）は、使用者で負担することが原則となっており、県内平均でおおむね1戸当たり3,000円から5,000円くらいとなっています。



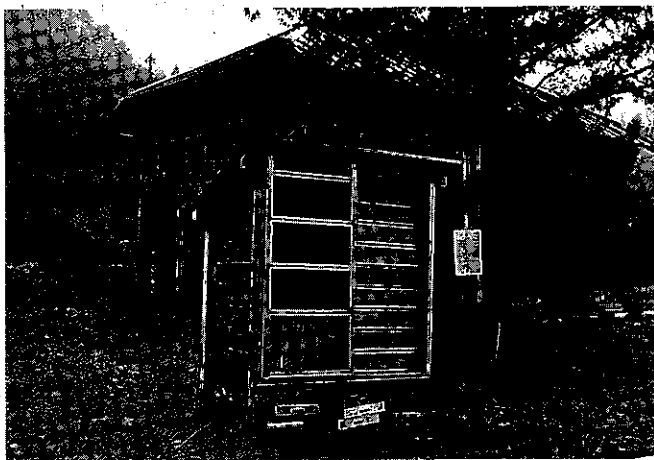
【問い合わせ】

農業集落排水事業についてのご相談は、南会津農林事務所農村整備部 (Tel. 0241-62-5277) または、お住まいの町村担当課へお気軽に！

特集! ② 「南会津の間伐材」利用促進について

館岩村におけるカラマツの間伐の推進と間伐材の利用促進について紹介します。

館岩村は標高が700m以上の高冷地であり、昔はスギは適さないと言われていました。また、八総鉦山等での坑木等の需要が多かったため、カラマツの造林が積極的に進められました。このため村内の人工林面積の約6割にあたる1,436haのカラマツ林があります。これは県内のカラマツ総材積の約1割に相当する258,437m³の貴重な森林資源です。しかし最近の林業を取り巻く諸条件の厳しさから、森林所有者の「山」に対する関心は薄れつつあり、間伐の推進とカラマツの利用促進への取り組みが課題となっています。村では平成5年度に林業振興協議会を設立し、間伐材を利用した「ダストステーション」の開発や安達郡大玉村のオートキャンプ場「フォレストパークあだたら」への材の供給など、カラマツの利用促進に向けて積極的な活動をしています。



カラマツ材によるダストステーション

今回の取り組みの目的は、第1にカラマツ間伐材を治山・林道工事等の森林土木事業に積極的に使用することで、間伐材の安定需要を確保することです。館岩村の森林土木事業費は、年間約4億円程度であり、その事業費の3%について、間伐材を使用した場合、材料の供給のために約7.0haの間伐の実施が必要となります。

森林土木事業では、今後も間伐の推進と林業の活性化のために、積極的に間伐材を使用していく予定であります。

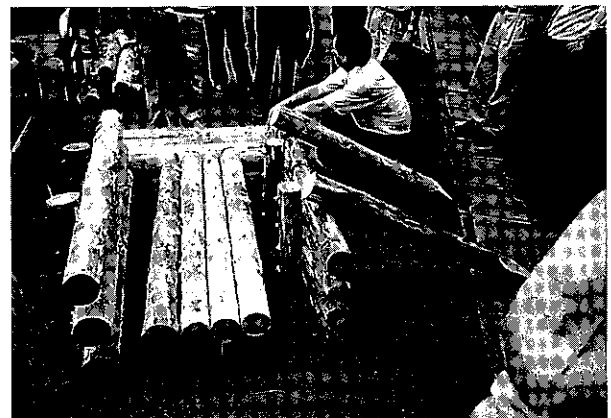
第2として、間伐材を森林土木事業に利用することで、森林所有者に収入の期待できる間伐についてPRを図り、間伐を積極的に実施し、森林の整備と併せて間伐材の安定した供給を確保するものです。間伐材の土木資材としての利用は全国的

に取り組みされていますが、その大部分は小径木加工施設において丸棒加工後に出荷され、製品として利用されています。しかし、館岩村の場合には、村外への運搬・加工等により経費が増大することになり、森林所有者への間伐による収益は期待できません。このため、村内の製材工場での加工が可能な原木丸太をそのまま使用した柵工等の工法を検討しました。そして、カラマツの伐採・搬出・加工の各工程において、コスト削減・省略化を図ることにより、森林所有者へ間伐により収入が期待できるものとししました。間伐収入を期待できる目安として試算例(次頁)を作成しました。

実際の収支の算出については、対象地の条件、資材単価により異なりますが、道路沿いの好条件地の場合は作業を委託しても、造林補助事業の適用が可能であれば、森林所有者は間伐による収入が期待できることとなります。今後は、実際に間伐を実施したモデル団地の設定、実施収支表の作成を行い、集落座談会等で森林所有者にPRしていく予定です。

この取り組みは他の町村でもスギ等の間伐で対応が可能であることから、11月、館岩村において集落リーダー養成講習会を開催しました。

集落リーダーは市町村森林整備計画に基づき、森林施業の共同化、間伐・保育の推進を図るために、核となって活動してもらう人達です。当日は初雪が見られる悪天候ではありましたが、町村担当者を含め24名の出席があり、カラマツの間伐の推進と間伐材の利用促進について理解を深めてもらいました。また、会津流域活性化センターによる木材安定供給確保推進事業に基づく事業内容の説明も併せて行い、これから各町村で予定されている集落座談会等に向けて、集落リーダーの活躍が期待されています。



木柵キット商品の試作品

間伐による森林所有者の収支予想

カラマツ 30年生 面積 1.0ha 間伐率 20% 生育条件 普通
 森林所有者が森林組合に間伐を委託して造林補助金の適用を受けたケース
 (間伐材を森林土木事業で使用するため、丸太として販売した場合)

- ① 間伐対象地が道路から20m程度の場合→森林所有者の収益金 4~10万円
- ② " " 200m程度の場合→ " " 2万円
- ③ " " 500m程度の場合→ " " なし



~研修会・講習会のお知らせ~

農業短期大学校・会津農業センター研修

内 容	日 時	場 所
① 農業機械研修：「無人ヘリ操作基本」	1/17~20	農業短期大学校内
② 専門研修：「シミュレーションによる社会経営管理技術」	1/19~20	"
③ 農業機械研修：「農業機械導入利用」	1/25~27	"
④ 農産加工基礎研修：「パン加工」	1/27	"

※お申込み・お問合せ先：南会津地域農業改良普及センター TEL 0241-62-5262

グリーン・ツーリズムインストラクター研修会及び推進大会のお知らせ

南会津地方のグリーン・ツーリズムのインストラクターを目指す方を対象に研修会を実施いたします。また、グリーン・ツーリズム推進大会として一般の方も対象とし、グリーン・ツーリズムとは何か、今後の南会津グリーン・ツーリズムの推進についてのグリーン・ツーリズムで活躍されている2名の講師をお招きし講演会を実施いたしますので、ふるってご参加下さい。

なお、参加希望の方は、1月28日までに下記お問い合わせ先に報告してください。

【日時】 平成12年2月9日(水)

【場所】 田島町建設会館(田島町大字田島字大坪甲13-1 TEL0241-62-2421)

【内容】 ・グリーン・ツーリズムインストラクター研修会(10:00~12:00)

講演「グリーン・ツーリズムにおけるインストラクターの役割(仮題)」

J A全中 緒方 博修 氏

・グリーン・ツーリズム推進大会(13:15~15:30)

講演「グリーン・ツーリズムと地域活性化(仮題)」

東日本国際大学 青木 辰司 氏

【入場】 無料

【問い合わせ】

南会津農林事務所 企画部 地域農林企画室

(TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5349)

または、各町村農政担当課まで



年男から一言



南会津農林事務所の職員の中から、辰年生まれの方6名に今年の抱負をお聞きしました。

	<p>横田 泰助 (所 長)</p>	<p>庚辰 (かのえたつ) 昭和15年生まれの私も、もはや還暦、少し寂しい気もするが、再び生まれた年の干支に還るとのこと。新たな気持ちで肩ひじ張らずに、ふつうに生きようと思う。</p>
	<p>阿久津幸雄 (森林林業部)</p>	<p>辰は一二支の中で唯一架空の動物だそうです。その辰という動物を連想するとき、空に向かって勇ましく登っていく姿を想像する人が多いではありませんか。私も、そんな辰をお手本に公私ともに頑張りたいと思います。</p>
	<p>湯田 守英 (農業振興部)</p>	<p>この12年間は何も進歩がなかった。 今後の12年で少しは進歩したいと思います。</p>
	<p>吉田 好幸 (森林林業部)</p>	<p>「林業は百年先を創造する」。 これを2000年代のテーマにしたいと思います。</p>
	<p>飯村 勝治 (森林林業部)</p>	<p>何事にも前向きな姿勢で取り組む年とにしたいと思います。 最後は温泉でリフレッシュしたいと思います。</p>
	<p>永井龍太郎 (農業振興部)</p>	<p>辰年生まれということで、龍太郎と名付けられました永井です。 今年は名前負けしないような年でありたいです。</p>

3ヶ月予報

仙台管区气象台発表の「東北地方3ヶ月予報」

- 1月 東北日本海側では平年に比べくもりや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 2月 平年と同様に、東北日本海側ではくもりや雪の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。
- 3月 天気は数日の周期で変わり、平年に比べ東北日本海側ではくもりや雪または雨の日が少なく、東北太平洋側では晴れの日が少ないでしょう。

※今回の「窓」は、所長の新年挨拶に代えさせていただきました。

お問い合わせ

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。
郵便・FAXどちらでも結構です。

あて先 〒967-0004

福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1

南会津農林事務所企画部 地域農林企画室

TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5349

この広報誌は再生紙を使用しております